

第6回 定時総会

ごあいさつ

公益社団法人 徳島県宅地建物取引業協会 会長

清水 哲也



本日は平成30年度第6回定時総会を開催いたしましたところ、会員の皆様方には県下各地より多数のご出席をいただき、このように盛大に定時総会が挙行できますことは、誠に感謝に耐えない次第でございます。

また、徳島県知事 飯泉嘉門様、県議会議員 樫本孝様、丸若祐二様、徳島県県土整備部副部長 北川政宏様、県土整備部住宅課課長 森琢真様には、公務ご多忙にもかかわらず、ご臨席を賜りましたことを心より感謝申し上げますとともに、日頃、本会の会務運営に格別のご指導、ご高配を賜っておりますことに、高いところからではございますが、本席をお借りいたしまして、衷心より厚く御礼を申し上げる次第でございます。

さて、昨年を顧みますと、年明けからトランプ大統領の就任に始まり、4月にはシリアにトマホーク発射があり、北朝鮮問題も急速に悪化し、世界情勢から目が離せない年であったように思います。

また、日本経済は、GDPは実質・名目共に伸びており、成長率も前年度と比べ上昇していますし、株価は通年に亘って堅調に伸び続けました。雇用関連につきましても、人口・生産年齢人口が減少する中、有効求人倍率がバブル期並みとなり、正に売り手市場、人出不足の深刻化が伺える状況にあります。

不動産市況に目を転じますと、都心部では、日銀のマイナス金利政策の余波を受け、住宅ローンは低金利を推移し、その影響もあってか、新築住宅の着工数はここ数年増加傾向にあります。加えて、2020年東京オリンピック大会に向けた関連施

設の整備や大規模ビル開発が進んでいるようですが、一方、地方においては政府や日銀の「景気の穏やかな回復」との宣言とは裏腹に安倍政権が目指す「経済の好環境」については目立った成果が見えてこず、依然として閉塞感が漂い、厳しい市場環境を脱しきれず、大都市圏と地方圏の格差が顕著に現れた一年でありました。

そうした中で、本会は昨年、創立50周年を迎えたところであり、先輩諸兄の大変なご苦勞とご努力に深甚なる敬意を表しますとともに、会員各位、各界関係者の皆様方のご支援とご協力に改めまして感謝申し上げる次第でございます。

また、50年という長い歴史の中にあって、これまで経験したことのない未曾有の不動産不況下で、増加する空き家問題、住宅ストック活用型社会への転換、民法改正等、数多くの課題を抱えながらも、本会は「不動産に関する情報提供と社会への貢献事業」「不動産取引啓発人材育成事業」「地域振興のための事業」これらを三本柱として公益目的事業を展開しているところでございます。

特に空き家問題では、本会に設置した「徳島県空き家・空土地相談センター」の周知、更には、徳島市、阿南市、鳴門市の市役所を利用した出張相談所の開設等も行っており、今後はこうした受動から能動へ、守りから攻めへの施策をより積極的に展開していく必要性を痛感いたしております。

更に、年々その発生率が高まっている南海トラフ巨大地震に備え、県からの要請があれば速やかに情報提供ができるよう、精度の高い情報収集に努めているところであり、昨年は徳島県下の民間賃貸住宅の空き室調査を実施するとともに、支部

毎の会員間連絡網体制の整備も行いました。

空き家問題や既存住宅流通活性化対策は、市場規模が極めて大きいことから、全国的な問題として捉えられており、本会としても将来を見据えた対策を講じていかなければならないと考えております。既に阿南市とは「空き家等の総合的な対策の推進に関する連携協定」を、鳴門市とは「空き家バンク制度媒介等に関する協定」をそれぞれ締結しているところではありますが、今後こうした地方自治体との協力体制を積極的に広げていくことが空き家問題を早期解決に導くものと確信をいたしております。

直面する喫緊の課題は山積しておりますが、その課題解決のために最大限の努力をする覚悟であり、更には、地域経済に好環境をもたらす「地方創生」に重点を置いた施策と県民の住宅取得環境の改善に資するための諸事業に全身全霊で取り組む所存でございます。

会員の皆様方の更なるご協力を心からお願い申

し上げます。

この後、平成29年度の事業報告、平成30年度の事業計画並びに収支予算の報告と平成29年度の収支決算、定款一部改正、役員選任のご承認を賜るべく提案をさせていただくことになっております。

慎重審議を賜りまして、本総会が実り多いものとなりますことを切望する次第でございます。

最後になりましたが、この2年間皆様方の温かいご支援とご協力のお蔭をもちまして私をはじめとする役員が大過なくその責務を果たすことができましたことに心から感謝申し上げる次第でございます。

また、本日ご臨席賜りました来賓各位におかれましては、従前に勝るご指導とご高配を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご臨席の有志各位並びに会員の皆様方の今後益々のご健勝とご繁栄を、併せて徳島宅建協会の発展を心より祈念申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。

